

Japan Private Equity Conference in 大阪

シンポジウム開催のご案内

～日本のプライベート・エクイティ・ファンドの新潮流～

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。昨今、日本の年金基金の資産運用の対象としてプライベート・エクイティ・ファンド(バイアウト・ファンド、再生ファンド、メザニン・ファンド、プライベート・デット、セカンダリー・ファンドなど)が注目されつつあります。また、地域金融機関(地方銀行・信用金庫)が日本のプライベート・エクイティ・ファンドにコミットする動きも顕著になっています。

本シンポジウムでは、運用資産としてのプライベート・エクイティの特性・魅力の説明に加え、バイアウト・ファンドやメザニン・ファンドが日本の中堅・中小企業に対してどのような付加価値を提供しているのかについて解説します。また、『機関投資家のためのプライベート・エクイティ』および『年金基金のためのプライベート・エクイティ』の出版記念セッションを開催します。

企業年金基金、厚生年金基金にて資産運用に携わっている方々や、地域金融機関(地方銀行・信用金庫)にて資産運用やコーポレート・ソリューション業務に関与されている方々にご参加賜れば幸いです。

開催要領

【日時】

2014年12月3日(水) 13:25~17:45 (13:00 受付開始)

【場所】

ブリーゼプラザ(大阪市北区梅田2-4-9)7階小ホール

【参加費】

1名18,000円(税込)

【参加対象】

- ・企業年金基金、厚生年金基金、公的年金基金、信託銀行、投資顧問会社などで年金資産運用に携わっている方々
- ・地方銀行、信用金庫で資産運用業務、コーポレート・ソリューション業務(M&A・事業承継・LBO)、企画業務に関与されている方々(資金証券部、市場金融部、総合企画部、法人営業部、営業統括部など)
- ・金融機関(大手銀行、証券会社、保険会社、ノンバンク) ・プライベート・エクイティ・ファーム

【お申し込み方法】

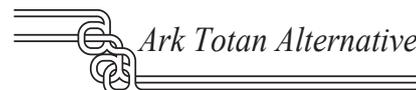
申込書でのFAX送信かWebサイト上(<http://www.jbo-research.com/>)で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

Lead sponsors

CapitalDynamics



イー・アイ・キャピタル株式会社
Alternative Investment Capital Limited



Co-sponsors



Advantage Partners, LLP



東京海上キャピタル株式会社

Deloitte. トーマツ

大和ファンド・コンサルティング
Daiva Fund Consulting



MIZUHO

みずほキャピタルパートナーズ



MIZUHO

みずほグローバルオルタナティブインベストメンツ

西村あさひ法律事務所
NISHIMURA&ASAHI

GLOBIS CAPITAL PARTNERS

NEXT ネット・キャピタル・パートナーズ



フェニックス・キャピタル株式会社
Phoenix Capital Co., Ltd.



EATON PARTNERS

主催：株式会社日本バイアウト研究所 協力：株式会社きんざい

URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】jbori@jbo-research.com (担当：杉浦)

Japan Private Equity Conference in 大阪 プログラム

受付開始 (13:00)

基調講演 (13:25-13:55)

テーマ：日本の年金基金・機関投資家が本気でプライベート・エクイティ投資に取り組むための方策
アーク東短オルタナティブ株式会社 代表取締役社長 棚橋俊介氏

<概要>

日本の投資家は、欧米先進国ほどプライベート投資の機会を十分に利用できていない。しかしながら、欧米先進国と同等の投資機会を享受できることになる「時代の転換点」が訪れようとしていることを指摘する。GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）がプライベート投資を開始しようとするこのタイミングで、日本の年金基金・機関投資家が、本気でプライベート・エクイティ投資に取り組むためにはどうしたらよいか、グローバルおよび日本プライベート・エクイティの市場環境を紹介しながら、長年問題意識を持ち本問題解決のための会社を立ち上げた立場から語る。

マーケット・レビュー (13:55-14:25)

テーマ：プライベート・エクイティ・ファンドの最新潮流 ～バイアウト・ファンドとメザニン・ファンドを中心として～
株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

年金投資家および機関投資家の資産運用の対象としてのバイアウト・ファンドとメザニン・ファンドの特徴について説明するとともに、ファンドが日本の中堅・中小企業に提供するソリューションの事例について解説する。また、地域金融機関（地方銀行・信用金庫）とプライベート・エクイティ・ファンドとの連携の可能性について説明する。

休憩 (14:25-14:35)

第一セッション (14:35-15:20)

テーマ：メザニン・ファンドへの投資の魅力 ～ミドルリスク・ミドルリターン of 安定的インカムゲイン～

株式会社メザニン 代表取締役 笹山幸嗣氏

みずほキャピタルパートナーズ株式会社 マネージング・ディレクター 宮崎直氏

三井住友トラスト・キャピタル株式会社 常務取締役 石井誠氏

司会者 みずほグローバルオルタナティブインベストメンツ株式会社 運用第三部 部長 佐村礼二郎氏

<概要>

近年、年金投資家および機関投資家の間でメザニン・ファンドが注目されつつある。本セッションでは、メザニンのリスク・リターン他の特性を踏まえつつ、投資家から見たメザニン・ファンド投資の魅力について説明する。また、買収ファイナンス、資本増強、設備投資資金・成長資金の調達、中堅・中小のオーナー企業の株主構成再構築など、メザニン・ファンドの活用場面について事例を交えながら紹介する。

第二セッション (15:20-16:05)

テーマ：プライベート・エクイティ・ファンドによる価値創造の手法 ～成長性のある企業への投資とハンズオン支援～

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 パートナー 密田英夫氏

アドバンテッジパートナーズLLP オペレーティング パートナー 馬場勝也氏

株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ マネージング・パートナー 仮屋蘭聡一氏

司会者 株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

バイアウト・ファンドやベンチャー・キャピタル・ファンドは、投資先企業の価値創造を行うことでリターンを獲得する。近年、中堅・中小のオーナー企業の事業承継、大企業の子会社の独立・カーブアウト、急拡大企業への成長資金調達などでファンドが活用される場面が増えてきている。本セッションでは、日本を代表するマネジャー3社を招き、どのように投資先企業の価値創造を行っているのかを具体的な事例を交えて議論・検証する。

コーヒーブレイク (16:05-16:25)

刊行の背景・内容紹介 (16:25-16:35)

株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

第三セッション “出版記念セッション” (16:35-17:30)

テーマ：プライベート・エクイティのポートフォリオ構築の手法と課題の克服方法

YKK 企業年金基金 常務理事 藤森正文氏

株式会社日本政策投資銀行 企業投資部 ファンド投資班 課長 白鹿博之氏

アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 セカンダリー投資担当執行役員 マネージングパートナー 赤荻貴夫氏

司会者 キャピタル・ダイナミックス株式会社 代表取締役社長 小林和成氏

<概要>

年金基金・機関投資家が新たにプライベート・エクイティ投資を開始する際には、その投資家の状況（属性、運用資産規模や運用体制など）および「Jカーブ」の克服や投資先ファンドの選定・モニタリングの実務などの課題を念頭において、入念な計画を策定することが望まれる。このような計画の策定に関して、企業年金基金および機関投資家の経験者を交えて議論し、新たに投資を開始する投資家に考慮すべき点などの示唆を行う。

クロージングスピーチ (17:30-17:45)

テーマ：プライベート・エクイティ・ファンド投資における法的留意点

西村あさひ法律事務所 弁護士 五十嵐誠氏

<概要>

昨今の金融商品取引法改正の概要を説明後、年金基金や地域金融機関を含む投資家がプライベート・エクイティ・ファンドに投資する場合に留意すべき法規制その他の法的留意点について概説する。